

授 業 科目名	入門（国際関係）	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	国際関係論（国際政治学）の基礎を学ぶ	担当者	鈴木 亨尚			
講義概要	<p>【概要】 毎回、高校の「政治経済」あるいは「現代社会」の「国際関係」の内容・レベルから始め、「国際関係論（国際政治学）」のごく基礎的な内容に及ぶことにより、これ以降の国際関係論（国際政治学）の本格的な学習に備えることを目的としている。授業は、まず、講義を行い、次に、問題演習を行い、最後に、次回授業で小テストを行い、知識の定着を確認するという形で進めていく。時事問題に関する授業も予定している。</p> <p>定期試験は、授業でやることをおおよそそのまま出題する。毎回、授業に出席し、小テストの準備を行っていただければ満点に近い点数がとれるようなレベルである。積極的な履修を期待したい。</p> <p>【到達目標】 国際関係論（国際政治学）の基礎を理解し、定期試験で最低でも 60 点がとれるようになること。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 特になし。当方で、レジュメを用意する。</p> <p>【参考書】 特になし。</p>					
授業回数	内容					
1	国際社会と国際法					
2	国際連盟と国際連合					
3	戦後の国際政治の展開（1）					
4	戦後の国際政治の展開（2）					
5	小テスト(国際社会と国際法～戦後の国際政治の展開)					
6	核軍縮					
7	民族問題と民族紛争（1）					
8	民族問題と民族紛争（2）					
9	民族問題と民族紛争（3）					
10	小テスト(核軍縮～民族問題と民族紛争)					
11	平和主義					
12	日米安全保障条約					
13	日本の戦後外交					
14	冷戦後の日本の安全保障政策					
15	小テスト(平和主義～冷戦後の日本の安全保障政策)、時事問題					
評価方法	小テスト 50 点、定期試験 50 点。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に表現できたものには A を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて B または C とし、単元の内容についての理解自体が不十分なものはその程度に応じて D または E とする。					
その他	特になし。					